様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立鳥取工業学校

学校長 中林 正樹

評 価 日	令和5年6月13日(火)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良い。 <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接が他校と比べて圧倒的に上手で、進路指導が手厚い。 <p>3 具体目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験合格率は100%を目指してほしい。 ・鳥工の良さは資格が取れること。合格率100%を目指してほしい。 ・専門高校で3年間学ぶのだから、もっと高い技術力を身に付けられるといい。 ・自転車でヘルメット着用が義務づけられているが、前のかごに入れていることがある。人が見えないところできちんとできる鳥工生であってほしい。 <p>4 目標達成のための具体方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムは年間8回行われており、回数をこなすうちに目を輝かせる。2科での実施だが全科でするといい。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数がR4年度よりやや増えた要因は何か。 ・中学校の技術の授業は、工業の入り口のような内容だが、中学生はものづくりが好きで取組みがいい。進路指導に生かせるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、体育祭では保護者に公開でき、授業公開週間では毎日5名程度の参加があった。コロナ前の活動にもどりつつある。 ・意見をいただいて、学校の魅力や課題を抽出し、課題の解決や地域を支える人材育成につなげた <p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職は最終的には100%を早期に達成している。1次試験での合格100%を目指したい。 ・国家資格が取れることが本校の強みなので、合格率を上げたい。 ・5S・あさひの指導や生徒指導規約をとおして規範意識を高め、交通ルール・マナーの守れる生徒に育てたい。 ・デュアルシステムは電気科と機械科で行っている。他にも例えば建設工学科の課題研究で若葉台バス停のベンチ作りなどで地域貢献できている。活動の幅を広げた <p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度入試から特色入試が入り、中学生は希望すれば中学校の推薦不要で受けられる。中学校への出前授業も行っている。 	